

奥野製薬工業社長

おくの なおき  
奥野 直希氏

さあ! 出番

IT'S YOUR TURN



1996年から社長を務めた父の和義会長にバトンを渡された。売上高の7割以上を占める表面処理の技術を生かし「半導体や二次電池関連に力を入れていく」と展望を語る。2012年の米国法人立ち上げが転機だ。

## 表面処理の技術生かす

米自動車部品メーカー「経営層」として期待との商談に奔走。当初は1人で赴任し、後に来た社員らと協力し多様な業務をこなした。「1人で会社はできない」と実感した。従業員の心理的安全性を確保しつつ、家族的な経営を目標に掲げる。

足元では25年度から始まる中期経営計画を策定。約15人のプロジェクトメンバーは40代が中心だ。「次世代の

06年(平18)大阪教育大教育卒。09年奥野製薬工業入社。21年執行役員、22年取締役、23年副社長。兵庫県出身、40歳。5月30日就任。(大阪市中央区道修町4の7の10)

「子どもと過ごす休日」が「ストレスを忘れさせてくれる。遊んだり宿題を見たりして過ごす」と笑顔を見せる。(大阪・森下晃行)